

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2201212	被服実習 I Clothing Construction Practice I	平岩 暁子	専門	2	必修	1年 後期
科目の概要						
被服製作を通して、人体とパターンの関わりを学び、被服造形に関する基本的な技術の習得を目指す。デザインに合った布地の選択、胴部原型からパターンの展開法、基礎的な縫製技術、縫製機器の使用法を学習する。上半身衣服として半袖シャツ、各種基礎縫いの練習課題としてハーフパンツと東袋を製作する。						
学修内容			到達目標			
②人体と衣服(パターン)との関わりを学び、デザインに合わせたパターン展開方法を学ぶ。 ②デザインに合う布地の選択方法を学ぶ。 ③縫製(ミシン・手縫い)に関する基礎的技術を習得する。			①原型からデザインに合わせてパターン展開ができる。 ②デザインに合う布地の選択ができる。 ③縫製に関する基礎的技術を習得できている。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	実習課題を製作するのに必要な知識・技術について、配布プリントを読み、自分で練習して、学修ができる。				
	働きかけ力					
考え抜く力	実行力	課題を製作するために必要な基礎的技術を習得に向けて努力し、目標のレベルまで到達できる。				
	課題発見力	プリントを読み、その内容を理解して、洋裁に関する課題を発見することができる。				
	計画力					
チームで働く力	創造力	製作する作品のデザインを自分なりに考え、作品を形にできる。				
	発信力	実習記録では、整理した内容を的確な文章で表現できる。				
	傾聴力	作業内容の説明をよく聞き、実習に取り組むことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、授業中の居眠りや私語、携帯電話を触るなどをせず、ルールを守った行動ができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
プリントを適宜配布する。 参考図書:『文化ファッション大系 服飾造形講座』、文化服装学院編、文化出版局、(2009)						
他科目との関連、資格との関連						
今後の衣服製作での学習につながる基礎的な科目である。特に「被服実習Ⅱ」では、さらに技術を発展させることができる。教職課程(家庭科)必修科目						
学修上の助言			受講生とのルール			
被服造形に関する基本的な知識・技術を、実習を通して学習する。経験の有無に関わらず、真剣に取り組むこと。 ※作成にあたり布、糸、ボタン等以外に 1,000 円程度の費用が必要となる。			実習科目であるので、予定進度まで進まなかった場合は、授業時間外でも実習を行い、進度まで進めること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
小テスト		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
レポート	10	①	✓	実習のまとめ・記録用紙の提出
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
作品	80	①	✓	パターンの作図が正確にできているか、完成度をみる(10点) デザインに合う布地の選択ができているか(5点) 縫製に関する基礎的技術を習得できているか(65点)
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(規律性)・受講態度(遅刻、欠席、私語、居眠り、携帯を触るなど)は減点する (主体性)・出席、授業中の興味関心、意欲を評価する。 (実行力)・目標のレベルまで到達しようという努力の姿勢を評価する。 (課題発見力)・ファッションに関する課題を発見できているか、実習記録で確認する (創造力)・自分なりの方法を考え、実行しているか、授業態度で確認する。 (発信力)・プレゼンテーションや実習記録で確認する。 (傾聴力)・授業態度やプレゼンテーションの聴講態度などで確認する。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
		④		
⑤				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>パターン、縫製技術ともに優れている、積極的に実習に取り組んでいる。</p> <p>(縫製技術では、針目の大きさや糸調子は適正であるか、しるし通りに縫ってあるか、衿は裏衿が控えられているか、衿付けや袖付けでしわが入っていないか、三つ折り部分は均等に折り、ステッチが曲がっていないか、などについて評価する。)</p> <p>※上記に対し極めて高い評価が与えられると判断された場合、S(秀)とする。</p>	<p>パターン・縫製技術の基本は身につけているが、完成時の見栄えには少し問題点がある。</p> <p>つまり、しるし通りに縫えていない部分がある、裏衿が飛び出している部分がある、しわが入っている、三つ折りが均等でない、ステッチが曲がっているなどの場合は減点する。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	被服実習の内容説明、道具の説明 ハーフパンツの製作(採寸、パターン作成)。 手縫いの練習として手ぬぐいで東袋を作る。	講義 作業説明 実習(採寸、パターン作図)	パンツのパターンを作成し提出する。 基礎縫い(運針)の方法が分かる。 実習記録をつける。	(予)高校までの被服について復習してくる。 (復)採寸のポイントをまとめる。東袋の作業を進める。	120	規律性 主体性 実行力 創造力
2週 /	ハーフパンツの製作 裁断、しるし付け、ロックミシンによる縫い代始末をする。 ミシン縫いの練習	作業説明 実習(裁断、しるし付け)	裁断(縫い代の付け方)、しるし付けの方法が分かる。 実習記録をつける。	(予)ハーフパンツの布を購入してくる。 (復)裁断、しるし付けの方法をまとめる。	120	規律性 主体性 実行力 課題発見力
3週 /	ハーフパンツの製作 本縫いミシン(股下、裾を三つ折りにしてステッチをかける)	縫い方説明 実習(本縫い)	パンツの組み立て順が分かる。 実習記録をつける。	(予)東袋を完成させて提出する。(復)ミシン縫いの復習をする。	120	規律性 主体性 実行力 課題発見力
4週 /	ハーフパンツの製作 本縫いミシン(股ぐり、ウエスト)を三つ折りにしてステッチをかける)。ウエストにゴムを通す。	縫い方説明 実習(本縫い)	正しい方法でパンツを完成できる。 実習記録をつける。	(予)パンツの組み立て順をまとめる。(復)期限までにパンツを完成して提出する。	120	規律性 主体性 実行力 課題発見力
5週 /	シャツの製作 各自の寸法を採寸する。原型を使用し、各自のシャツのデザインでパターン作図する(身頃)。	採寸と作図説明 実習(パターン作図)	採寸の方法が分かる。 身頃のパターンを作成し提出する。 実習記録をつける。	(予)シャツのデザインを検討してくる。(復)原型から身頃のパターンの引き方をまとめる。	120	規律性 主体性 実行力 課題発見力 創造力
6週 /	袖と衿のパターン作図 見返しのパターンを作る 布地の説明、用尺の見積りをする。	作図説明 実習(パターン作図)	袖と衿のパターンを作成し提出する。 実習記録をつける。	(予)袖と衿のパターン作成のプリントに目を通してくる。(復)各自のパターン作成法をまとめる。布地の見積り方法を復習する。	120	規律性 主体性 実行力 課題発見力 創造力
7週 /	布地裁断を行う。チャコペーパーでしるし付けをする(身頃と袖)。	裁断説明 実習(裁断、しるし付け)	裁断(縫い代の付け方)、しるし付けの方法が分かる。 実習記録をつける。	(予)実物の布地を購入する。 (復)しるし付けまで終わらせる。	120	規律性 主体性 実行力 課題発見力
8週 /	接着芯を裁断し、アイロンで接着する。ロックミシンによる縫い代始末をする。	作業説明。 実習(接着芯貼り、ロックミシン)	接着芯の貼り方が分かる。 ロックミシンが使える。 実習記録をつける。	(予)ロックミシンの練習をしておく。(復)接着芯の使用法を復習する。	120	規律性 主体性 実行力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	衿に接着芯を貼った後、しるし付けをする。 衿を作る。	縫い方説明 実習(本縫い)	表衿と裏衿に差をつけて縫うことができる。 実習記録をつける。	(予)衿作りのプリントに目を通しておく。 (復)衿の縫い方を復習する。	120	規律性 主体性 実行力 課題発見力
10週 /	衿を身頃に付ける。 衿を身頃と見返して挟み、縫い表に返す。 前端的始末、脇縫いをする。	縫い方説明 実習(本縫い)	衿付けは、しわが入らないように注意して行う。 実習記録をつける。	(予)身頃。衿付けまでが完成できている。 (復)衿付けの注視点について復習する。	120	規律性 主体性 実行力 課題発見力
11週 /	袖を作る。 袖口をアイロンで三つ折りにする。袖下を縫う。 袖口にステッチミシンをかける	縫い方説明 実習(本縫い)	袖口の三つ折りは均等の太さになるよう注意して行う。ステッチミシンの糸調子に注意する。 実習記録をつける。	(予)袖山にぐし縫いをしてくる。 (復)袖作りについて復習する。	120	規律性 主体性 実行力 課題発見力
12週 /	袖を身頃に付ける。 待ち針で留めたのち、しつけを掛ける。	縫い方説明 実習(本縫い)	袖付けは、しわが入らないよう注意深く行う。 実習記録をつける。	(予)袖の付け方のプリントに目を通しておく。 (復)袖の付け方を復習する。	120	規律性 主体性 実行力 課題発見力
13週 /	袖を身頃に付ける。 袖付けミシンをし、縫い代をロックミシンで始末する。 裾を三つ折りにして、ステッチミシンをかける。	縫い方説明 実習(本縫い)	袖付けは、しわが入らないよう注意深く行う。 裾の始末を完成できる。 実習記録をつける。	(予)袖付けのしつけがかかっている。 (復)袖の付け方、裾の始末について復習する。	120	規律性 主体性 実行力 課題発見力
14週 /	ボタンホールを作り、ボタンを付ける。	縫い方説明 実習(ボタンホール、ボタン付け)	ボタンホールを作る位置を説明できる。ボタン付けができる。 実習記録をつける。	(予)ボタンの付け方を練習してくる。 (復)ボタンホールの位置、ボタンとボタンホールのおおきさの関係を復習する。	120	規律性 主体性 実行力 課題発見力
15週 /	仕上げ。 製作した作品を着装する。 自身の作品のプレゼンテーションし、相互評価をする。	作品のプレゼンテーション 相互評価	作品のプレゼンテーションをする。 全体の振り返りと考察をする。	(予)作品を仕上げてくる。 (復)全体のまとめと、振り返りを行う。	120	発信力 傾聴力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力